

令和7年度一般選抜(前期日程)

面接(口頭試問を含む)の内容

信州大学教育学部

概要

- この資料は、信州大学教育学部一般選抜(前期日程)における「面接(口頭試問を含む)」の内容を説明したものです。
- この資料に含まれる内容は、過年度の実績です。次年度以降の内容と異なることがありますのでご注意ください。

内容

- 以下の手順で実施しました。
 - 面接集合場所において、面接集合場所の担当者が面接試験の方法について説明しました。
 - グループ分けと各グループの面接開始時刻を面接集合場所の担当者が周知しました。1グループの人数は4～5名でした。
 - 面接開始時刻に、グループごとに誘導の担当者が試験室に案内しました。
 - 受験番号を試験官が確認しました。
 - 課題と面接の手順に関する問題用紙を試験官が配付しました。試験官の指示で問題用紙を黙読し、課題と面接の手順を確認しました。
 - 課題に関する追加の問題用紙とメモ用紙を試験官が配付しました。5分間で、問題用紙を黙読し、課題に関連して自分の意見をまとめました。
 - 課題は学校教育関連の内容でした。
 - 1人1分以内で、1人ずつ意見を発表しました。メモ用紙を使うことができました。発表の順番は試験官が指示しました。
 - 課題について、グループディスカッションをしました。メモ用紙を使うことができました。ディスカッションの時間は15分間でした。
 - 意見が異なる場合には、異なる部分を中心としたディスカッション、意見が一致した後は、一致した意見を多くの人に伝える方法を考えるディスカッションを行いました。

- 1人ずつ、1人1分以内で、議論を振り返り、感想を発表しました。メモ用紙を使うことができました。発表の順番は試験官が指示しました。
- 誘導の担当者に従って面接集合場所に戻りました。
- すべてのグループの面接終了後、面接集合場所の担当者の指示で解散しました。
- 課題の内容は以下の通りでした。
 - 令和7年度：漢字練習をやめるべきかどうか、公立小学校を選択制にするべきかどうか、数学の授業時間数を増加させるべきかどうか
- 集団面接の手順について、YouTubeチャンネル「信州大学教育学部公式」で動画を公開していますので、参考にしてください。
 - <https://www.youtube.com/channel/UCU5IX7tN80yqtKyiSGpys6g>

以上